

市民と議会との語る会実施報告書

日	時	令和 8 年 5 月 1 4 日（木）	午後 7 時	～	午後 8 時 3 0 分								
会	場	北日野公民館											
出席議員	安立 里美 議員（班長） 土田 信義 議員 吉田 啓三 議員 川崎 俊之 議員 川崎 悟司 議員												
参加者（市民）	2 9 名												
司会（班長） 議会報告者 全体記録係	司 会 ：安立 里美 議員 議 会 報 告 ：川崎 俊之 議員 記 録 ：土田 信義 議員												
【1 部】 定例会概要報告等 （報告者） 川崎俊之議員	1. 全天候型キッズパークの設置について Q 武生楽市に設置されるが、例えば北日野地区であれば、公民館や体育館など既存施設を活用した分散配置の検討はあったのか。 A 地区により施設の有無など条件差がある。1 億円の補助制度であったが、補助を受けられる期間が短く、短期間で整備する必要があった。川西地区にはてんぐちゃん広場（市民プラザたけふ 3 階）があるため、川東地区の武生楽市が設置場所として選定された。 Q ランニングコストは、どの程度か。 A 建物の借上料、指定管理者に対する管理運営費が発生する。具体的な金額は現時点で未確定であり、今後精査される予定。 （意見）川西地区の住民の利用が進むか懸念がある。商業施設との相乗効果を活用していけるとなおよい。 （参考）5 月 1 9 日 全員説明会の説明内容 <table><tr><td>運営に係る費用（R8.7.24～R9.3.31）</td><td>1 3, 8 8 6 千円</td></tr><tr><td>（内訳）管理運営業務委託料</td><td>1 0, 0 4 0 千円</td></tr><tr><td>建物借上料</td><td>3, 7 4 7 千円</td></tr><tr><td>予約システム使用料</td><td>9 9 千円</td></tr></table> 2. 暮らし応援商品券について Q 事務手数料が高額である。デジタル化や運用改善によりコスト削減できないか。 A 議会でも効率化の議論は行われた。水道料金等に支援を行う方が事務負担は少ないが、商品券のほうが直接的な支援として市民のニーズが高いのではないかという意見もあった。他自治体でも様々な手法が採用されている。 （補足）過去には水道料金（基本料金）への支援が実施されたが、今回は商品券方式となっている。国の補助があるため、市の負担は限定的と考える。					運営に係る費用（R8.7.24～R9.3.31）	1 3, 8 8 6 千円	（内訳）管理運営業務委託料	1 0, 0 4 0 千円	建物借上料	3, 7 4 7 千円	予約システム使用料	9 9 千円
運営に係る費用（R8.7.24～R9.3.31）	1 3, 8 8 6 千円												
（内訳）管理運営業務委託料	1 0, 0 4 0 千円												
建物借上料	3, 7 4 7 千円												
予約システム使用料	9 9 千円												

	3. その他 (意見) 議会モニター会議の意見について、モニターと議員が意見交換する場を設けるべきではないか。市議会の開会時間が長年 10 時開始であるが、例えば 9 時半開始など見直しは検討してはどうか。
【2 部】 意見交換会 (A 班) 進行: 川崎悟司議員 記録: 土田議員 安立議員	1. 高齢者の居場所づくりについて Q 敬老会の縮小など、高齢者施策の後退が懸念される。 A 町内などでサロン活動や交流事業が実施されており、男性であれば麻雀を中心とした会も開かれている。頻度も地域によっては週 2 回程度実施されている。 Q 熱心に活動しているところはよいが、そうでないところもある。 A サロンに改善点があるのであれば、主体的にサロンの運営に携わり、変えていっていただきたい。市はサロン活動に対して補助金を交付している。また、シニアクラブや地域活動に対する支援も行っており、高齢者施策を軽視しているわけではない。 2. 下水道事業の方向性について Q 下水道事業は老朽化や維持費の増大が課題であり、浄化槽の方がコスト的・実用的に優れているのではないか。 A 下水道事業についてはこれまで多くの議論があり、地域によって整備方式が異なる。合併浄化槽を早い段階で採用しておけば現在の状況が変わっていた可能性もある。 (意見) 下水道事業は農業集落排水・合併浄化槽・公共下水道の 3 種類があり、現在は公共下水の整備が縮小され、合併浄化槽の性能向上により活用が進んでいる。 3. 公園整備と避難場所の確保について Q 福井市では町内ごとに公園が整備され避難場所にもなっているが、北日野地区では矢放町にだけ公園がない。子どもの遊び場や災害時の避難機能に不安がある。 Q 矢放町は避難場所が分散し、設備一式もない。避難場所を兼ねて、公園の設置はできないか。 (参考) 矢放町 第 1 避難所: 矢放町構造改善センター、民間駐車場、北日野ミニ体育館駐車場 A 避難場所として、また子どもの遊び場としての公園整備については、町内での要望を整理し提出いただくことが重要である。用地確保などの課題もあるため、協議しながら検討していく必要がある。

4. 地産地消と米の安定供給について

Q 米どころであるにも関わらず価格が高騰し、地元住民が安定的に購入できない。地産地消の観点から、地域で安定供給する仕組みは作れないか。

A 市がコントロールすることは難しい。地産地消は重要な考え方だが、市が1つの商品を買って上げて安定的な価格で供給する仕組みはハードルが高い。

Q 地域枠のようなものを設けたら、比較的簡単にできるのではないか。

A 農協との話になる。農協も営利企業であるため、利益を追求する。市ができることは非常に限られている。

5. 不法投棄対策について

Q 交通の利便性向上に伴い、窓からごみを投げ捨てるなどの不法投棄が増加している。対策（監視カメラ設置など）の検討は可能か。

A 不法投棄はモラルの問題が大きく、完全な抑止は難しいが、注意喚起や啓発は必要である。家電製品の廃棄場所等にはカメラが設置されており、抑止力にはなっている。

（意見）看板を設置しているが、効果は限定的である。

（意見）防犯カメラは主に通学路の安全確保目的で設置している。カメラの維持管理や費用の問題も大きい。

（意見）現在のカメラは常時監視ではなく必要時のみ確認しており、不法投棄対策として運用するには監視負担が増える。

6. 河川堤防の管理について

Q 日野川の堤防（西側）の草刈りが不十分で、交通安全上の支障が出ている。適切な管理を求めたい。

A 所管は県となるため、市として要望を伝えることになる。安全面の観点からも課題として認識する。

7. 空き地問題について

Q 売却困難な空き地を所有し続ける負担が大きい。空き家と同様の支援制度はないのか。

A 空き家は安全対策の観点から支援があるが、空き地については同様の制度はない。基本的には所有者管理となるが、困難な場合は行政への相談は可能である。

8. 市職員の対応・事務処理について

Q 市職員の対応が不適切であり、事務処理などにも問題があった。改善を求めたい。

(B班) 進行:吉田議員 記録:川崎俊之議員	A 具体的な内容を整理のうえ、担当課に共有し、改善を求める。 (参考) 後日、担当課へ意見を伝え、改善を求めた。 1. 空き地・空き家について Q 中古住宅の流通促進について、空き家の売買や利活用は可能か。 A 中古住宅については、空き家バンク等への登録により売買・利活用は可能であり、改修費への支援もある。一方で、空き家は基本的に個人所有であり、行政が直接介入できない面がある。ただし、制度改正により対応の幅は広がっている。 Q 空き家増加に伴い、所有者不明や連絡不能なケースが増えると、地域運営に支障が出るのではないか。 A 全国的にも大きな課題であり、対策が進められている。空家等対策の推進に関する特別措置法の改正により、管理不全空き家への対応が可能になっており、地域と連携して対応していく。 2. 外国人労働者の受入れについて Q 外国人労働者の増加により、生活習慣の違いから、地域コミュニケーション、ゴミ対策などに課題が発生している。企業・行政としてどのように対応していくのか。 A 人手不足により、外国人労働者の受入れは不可避であり、今後も増加が見込まれる。一方で、生活習慣や地域との関係形成が課題であるため、他地域の事例を踏まえた対応が必要である。 (補足) 多文化共生は重要だが、地域任せでは限界がある。行政も関与すべき課題と認識しており、地域との橋渡し役としての対応強化が必要である。今後も課題解決に向けて取り組む。 3. 企業支援について Q APBの現状、過去に交付された補助金の扱いはどうなっているか。 A 現在は実質的に休業状態と見られる。補助金は分割支給方式であり、1億円は支払済みで、返還は確認されていない。 (補足) 本件については産業建設委員会でも担当部局に説明を求めているが、明確な回答はない。状況が明らかになり次第、市民へ説明する必要があると認識している。 (意見) 以前は企業が竹藪などの周辺環境も管理していたが、現在は地域で対応せざるを得ない状況になっている。 (参考) 後日、担当課から地元区長に竹藪の管理について連絡。
---	---

4. 越前たけふ駅周辺開発・駐車場について

Q 駅周辺開発の進捗状況はどうなっているのか。

A 温浴施設のあるホテルが開業予定であるが、物価高騰等により開発は遅延している。商業施設等の計画はあるが、現時点で具体化している内容は限定的である。

Q 大型施設よりも小規模飲食店など、日常的に人が集まる施設を優先すべきではないか。

A 同様の意見は多く、施設構成について引き続き検討する必要がある。

Q 越前たけふ駅P & A駐車場の有料化は、利便性の低下につながるのではないか。

A 長時間駐車抑制や除雪対応等を目的に有料化の方針が示されている。料金は県内他駅と比較して低額に設定する予定であり、新幹線利用者への割引や決済方法も検討されている。

Q 低額料金では抑制効果が弱く、問題解決にならないのではないか。

A (補足：駐車場が有料化した当時について) 無料から有料になった新高岡駅では、利用者はあふれていなかったという情報提供を受けたが、効果については実施後の検証が必要と考えている。

Q 新高岡駅では、有料化によって利用が減少したという話もあると聞いたがどうか。

A 有料化後も満車にはなっていないと認識している。

(補足：敦賀延伸後の現状) 自身の調査では、新高岡駅は第3駐車場まですべて有料化されているが、満車となっている。さらに、周辺には民間の有料駐車場が複数整備されている状況である。

Q 民間で駐車場が整備されているのか。

A 需要に応じて民間が有料駐車場を整備する動きが広がっている。周辺に大型商業施設もあることから、そうした流れが生まれている。実際に需要が高まれば、民間による駐車場整備が進んでいくものである。

Q 福井村田製作所前のフリースペースが11月に供用開始予定で、遊具もあり、子育て世帯の来訪が見込まれる。特に土日に駐車場の不足が懸念され、満車により利用できない状況が出るのではないか。

A 同様の懸念について担当課に指摘した。だるまちゃん広場のように想定を超えて利用が増える事例もある。議会としても市民の意見を反映していく。

Q 駐車場に対し、議員自身の考えを伺いたい。有料化を避けたいという考えは理解するが、現実的な対応策の考えを知りたい。

A 議員としても思うところはあるが、議会として有料化を一定程度認めてきた経緯がある。有料化の影響を見極めたうえで、必要な対応策について、市と対峙しながら検討・対応していくべきと考えている。

Q あの場所に多くの人を集めて活性化を図るのか、それとも駐車場混雑

	を避けるために利用者を抑制するのかという方向性を明確にすることが重要であり、その議論なく市に求めても結論は出ないのではないか。 A 単に駐車場の問題としてではなく、将来的に飲食店などが整備され、人が滞在して消費を生む流れをつくる視点も必要である。駐車して新幹線に乗るだけでなく、地域でお金を使ってもらう仕組みも考えるべきであり、その点は同じ認識である。 Q この課題は市だけに任せるものではなく、議員や地元住民など多様な立場の意見を踏まえる必要があり、利用者側だけでなく地域全体として検討していかなければならない。 A 意見については、今後も議員に対して積極的に寄せていただきたい。（意見）岩内山登山者のための専用駐車場（5～10 台分）を設けてほしい。 5. その他 （要望）今後も継続して意見交換を行っていただきたい。
--	--

令和 8 年 5 月 1 4 日

越前市議会 議長 様

第 4 班 班長 安立 里美